

令和2年度 【豊岡市】認知症地域支援推進員活動報告

【豊岡市】の認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：2名
- 2 認知症地域支援推進員の役割：認知症施策担当
 - （1）認知症に関する知識の普及・啓発の推進
 - （2）早期発見・早期対応の推進（医療と介護の連携）
 - （3）認知症ケアの向上
 - （4）若年性認知症の人と家族への支援
 - （5）家族介護者に対する支援の充実
 - （6）権利擁護の推進
 - （7）地域見守り体制の推進



報告者氏名：山田晃子 小操加奈子
（豊岡市高年介護課）

【豊岡市】認知症施策全体図

〔目指す姿〕 認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる。

（１）認知症に関する知識の普及・啓発の推進

- ・認知症サポーター養成と活動の支援
- ・認知症キャラバンメイトの活動支援
- ・認知症フォーラムの開催
- ・認知症予防講座の開催
- ・学校、事業所等と連携した認知症の理解の推進



（２）早期発見・早期対応の推進（医療と介護の連携）

- ・地域包括支援センター等に早期に相談がにつながる仕組み
- ・認知症疾患医療センター、かかりつけ医等との連携
- ・認知症ケアネットの活用
- ・認知症初期集中支援チームの設置・周知
- ・早期発見・早期対応のための活動の支援



（３）認知症ケアの向上

- ・認知症地域支援推進員の設置
- ・介護従事者等に対する研修・事例相談会の開催

認知症の人やその家族の視点を重視して取り組みを行う



【豊岡市】認知症施策全体図

(4) 若年性認知症の人と家族への支援

- ・相談窓口の周知
- ・若年性認知症の人と家族のつどいの実施
- ・若年性認知症生活支援相談センター等との連携
- ・当事者の居場所づくり・社会参加への支援
- ・当事者及び家族の思いの発信

(5) 家族介護者に対する支援の充実

- ・家族介護支援事業の充実
- ・認知症家族介護教室の実施
- ・認知症カフェの周知
- ・家族介護者の会または認知症カフェ等の立ち上げ支援及び運営支援

(6) 権利擁護の推進

- ・消費者行政窓口、弁護士会等職能団体との連携
- ・市民後見、法人後見の検討
- ・権利擁護研修会の実施

(7) 地域見守り体制の推進

- ・高齢者等見守りネットワークの充実
- ・認知症高齢者等見守り・SOSネットワークの充実
- ・声かけ模擬訓練の実施支援
- ・地域ケア会議の開催

認知症の人やその家族の視点を重視して取り組みを行う



【豊岡市】R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

テーマ番号< 9 >コロナ禍に対応した取組や活動

1. 認知症フォーラムの開催

【目的】認知症の正しい知識と予防について学び、普段の活動や社会参加などを通じて活動的に楽しく過ごすことが予防につながることを認識し、高齢者自身が取り組むきっかけづくりとなり、市民が認知症になっても自分らしく安心して暮らせるまちづくりについて考える機会とする。

【工夫した点】

- ・参集型フォーラム開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染緊急事態宣言が発令され、開催が難しくなった。
- ・開催にあたって、医師会からも反対の声があった。認知症に関する普及啓発の貴重な機会をなくしたくない、どんな形なら開催できるか検討



講演内容を収録し後日、動画配信にて見てもらうことはできないか?! DVDの貸出で地域でも見てもらうことができないか。

【経過】

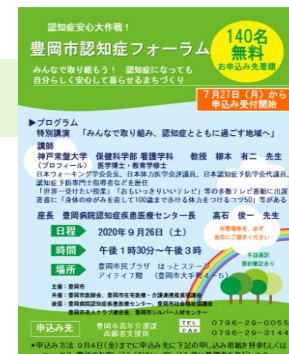
平成23年度から開催

【テーマ】

みんなで取り組もう！認知症になっても自分らしく安心して暮らせるまちづくり

【結果】

- ・講師の講演内容を収録し、後日申込者へ視聴案内を実施。
- ・申込者以外の方にも講演内容を収録したDVDの貸出しを行い、より多くの市民に視聴してもらうことができた。
- ・緊急事態宣言が解除されたあと、地区での集まりが再開されたときに地区の会館で視聴してもらうことができた。



【豊岡市】R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

テーマ番号< 9 >コロナ禍に対応した取組や対応



2. 認知症キャラバンメイトの活動支援（キャラバンメイト連絡会）

【目的】認知症サポーター養成講座の講師として活動するために、キャラバン・メイトが認知症のある人の理解を深めることにより、その役割を再認識し、効果的に講座運営ができるようにする。
また、キャラバン・メイト同士の交流・情報交換を行い、ネットワーク作りを進める。

【工夫した点】

- ・参加型の連絡会開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染予防のため参集型での開催が難しくなった。
- ・せっかく計画し、申込み者も多いのでどうか開催する方法がないか検討



オンライン型の研修にしては、どうか?!
各申込み者に環境が整っているか確認
再度、案内を行った。

【経緯】

毎年1回 キャラバンメイトを対象に開催

【内容】

認知症サポーター養成講座の実施状況
認知症に関する最新情報、研修会
認知症家族介護者当事者の思いの発信
情報提供など

【結果】

- ・参加型では、申込のなかった方からの追加申込があり、参加者は増加した。
- ・講師の先生は、遠方（県内）であったが、予定通り講演していただけた。

【参加者】

22名



【豊岡市】R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

テーマ番号< 9 >コロナ禍に対応した取組や対応

3. 地域見守り体制の推進（高齢者見守りネットワークの充実） （認知症高齢者等見守り・SOSネットワークの充実）

【目的】高齢者の虐待や孤立等を防止し、
高齢者が住み慣れた地域で安心して生
き生きと暮らせる地域づくりを推進する。

【協力事業所】

310事業所

（郵便局、介護保険事業所、
医療機関、清掃業者等）

【工夫した点】

- ・個別ケア会議の事例から、公共交通機
関（バスやタクシー、駅）へ見守り体制の
協力依頼を行った。
- ・顔の見える関係となるよう、担当者が出
向いて依頼した。



【経緯】

平成23年10月から実施

【内容】

- ・高齢者が抱える問題に対して早期発見、早期
対応ができる体制を構築する
- ・地区の役員や民生委員児童委員等との連携
や情報の共有を行う
- ・生活関連事業者等による見守りにより、地域
全体で支え合う取り組みをすすめる
- ・異変に気づいたときに、地域包括支援センター
等へ情報伝達される仕組みの構築

【結果】

- ・今まで課題であった、公共交通機関への見守り
体制を構築することにつながった。

最後に・・・（今後の取組みに対する認知症地域支援推進員としての思い）

認知症地域支援推進員として、個別事例の支援を通じてつながるネットワークや、日々の活動の積み重ねによる人（関係機関）との信頼関係が大切だと感じる。また、地域の良いことや、好事例を発信し市内に普及させていくこともすすめて行きたい。